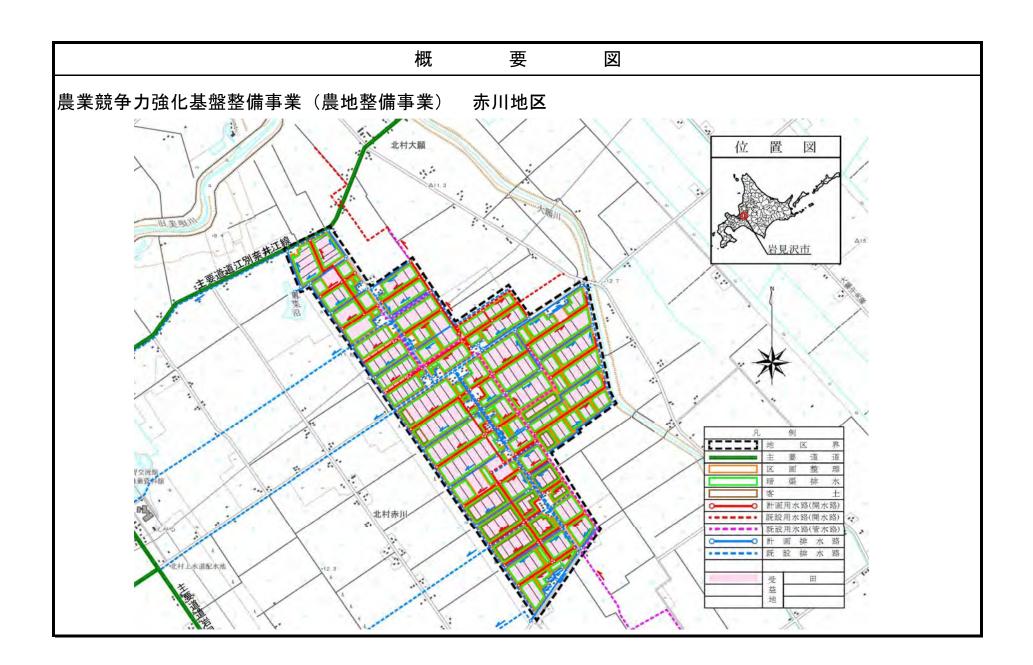
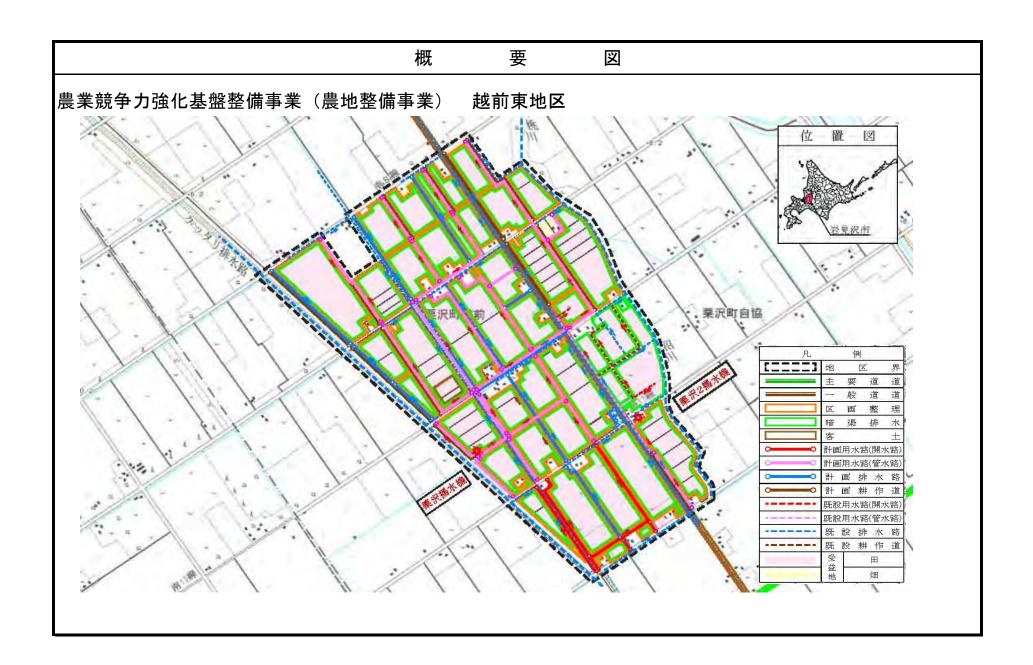
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	&整備事業	地区名	^{あかがわ} 赤川		
関係市町村	^{ほつかいどう いわみざわし} 北海道岩見沢市		事業主体	北海道	<u>Ť</u>	
事業目的	いる。 これまでに地区内 化や泥炭土壌に起足 じている。加えて、 の水田は、35a程度の いる。 このため、本事業 に、ほ場の大区画化	を主体として小麦やたでは用排水路や暗渠 図する用排水施設の機 担い手への農地集積の区画であるため労働 により国営かんがい持 、暗渠排水や排水路 で担い手へ農地の面的	排水等の整備 能低下が著し が進み経営規 対生産性が低く ・水事業と一体 整備による排	が行く、「たくない」が行いた。「たくないない。」では、「ないない」では、いいない。	れてきたものの 月水不足や排水 大が進んでいる 的な営農の妨げ 日水路の整備を行 、客土による	、老朽 不良が生 が、現況 となって テうととも 作土厚の
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	ŧ	I	期
	232ha	12戸	3, 424百万	i円	平成27~35年	度
	主要工事	・用排水路 25km ・区画整理 225ha				
	関連事業	国営かんがい排水事	\$ 空知中 <i>9</i>			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B∕C		算定方	式
	4, 865百万円	4, 143百万円	1. 17		総費用総便益	益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:赤川地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



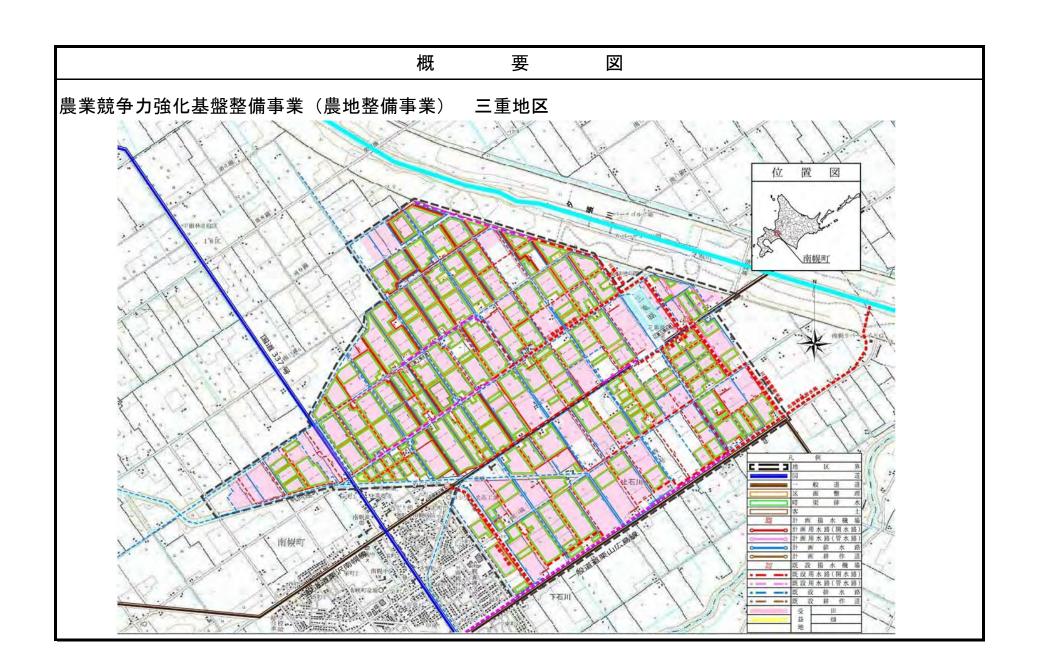
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	&整備事業	地区名	^{えちぜん} 越前		
関係市町村	ぃゎみざゎし 北海道岩見沢市		事業主体	北海道	<u></u>	
事業目的	いる。 これまでに地区内 化や泥炭土壌に起 じている。加えて、 の水田は、60a程度 ている。 このため、本事業 に、ほ場の大区画化	を主体として小麦やたまねぎ等を組み合わせた営農が展開されて 内では用排水路や暗渠排水等の整備が行われてきたものの、老朽 因する用排水施設の機能低下が著しく、用水不足や排水不良が生 担い手への農地集積が進み経営規模の拡大が進んでいるが、現況 の区画が大半を占め労働生産性が低く、効率的な営農の妨げとなっ により国営かんがい排水事業と一体的に用水路の整備を行うととも は、暗渠排水や排水路整備による排水改良、客土による作土厚の て担い手へ農地の面的集積を図り、本地域の農業競争力の強化を				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費		工期	
	207ha	24戸	2, 874百万	i円	平成27~35年度	
	主要工事	・用排水路 11km ・区画整理 191ha ・暗渠排水 16ha				
	関連事業	国営かんがい排水事	事業 空知中乡	P.地区		
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式	
	3, 853百万円	3, 219百万円	1. 19	- 	総費用総便益比方式	
概要図	別添のとおり					

出典:越前東地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	竖整備事業	地区名	みぇ 三重		
関係市町村	北海道空知郡南幌		事業主体	北海道	1	
事業目的	合わせた営農が展開 これまでに地区内 化や泥炭土壌に起足 じている。加えて、 でいるが、現況の水 い効率的な営農を実 このため、本事業 に、ほ場の大区画化	主体に小麦、大豆、てんさいのほかキャベツ等の野菜類を組み されている では用排水路や暗渠排水等の整備が行われてきたものの、老朽 する用排水施設の機能低下が著しく、用水不足や排水不良が生 担い手への農地集積および法人化が進み経営規模の拡大が進ん 田は、1ha以下の区画であるため、法人を核とした労働生産性が高 施する妨げとなっている。 こより国営かんがい排水事業と一体的に用水路の整備を行うととも 、暗渠排水や排水路整備による排水改良、客土による作土厚の 注担い手へ農地の面的集積を図り、本地域の農業競争力の強化を				、老朽 不良が生 なが進ん 産性が高 行うととも
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	#	I	期
	622ha	45戸	3, 883百万	ī円	平成27~35年	度
	主要工事	・用排水路 31km ・区画整理 383ha				
	関連事業	国営かんがい排水引				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方	式
	8, 155百万円	6, 475百万円	1. 25		総費用総便	益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:三重地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



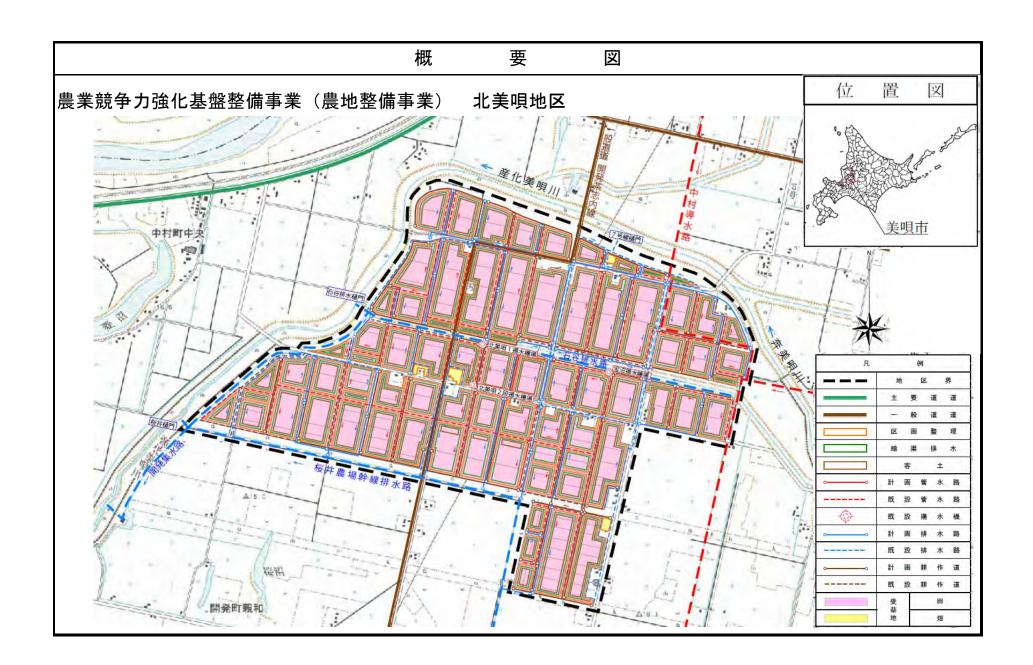
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	竖整備事業	地区名	_{สลย} ลส 大富第		
関係市町村	北海道美唄市		事業主体	北海道	<u>首</u>	
事業目的	これまでに地区内 化や泥炭土壌に起足 じている。加えて、 の水田は、35a程度の いる。 このため、本事業に、ほ場の大区画化	を主体として小麦や力では用排水路や暗渠 図する用排水施設の機 担い手への農地集積 D区画であるため労働 により国営かんがい持 、暗渠排水や排水路 ご担い手へ農地の面的	排水等の整備 態能低下が著し が進み経営規 生産性が低く は は は は は は は は は は は は	が行われていた。「模の本的に用いた。」	れてきたもの 月水不足や排 大が進んでい 内な営農の妨 水路の整備を 、客土による	の、老朽 水不良が生 いるが、現況 げとなって を行うととも る作土厚の
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費		エ	期
	108ha	15戸	2, 622百万	i円	平成27~35:	年度
	主要工事	・用排水路 0.4km ・区画整理 105ha				
	関連事業	国営かんがい排水事	章業 空知中學			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定	方式
	2, 787百万円	2, 553百万円	1. 09		総費用総便	 更益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:大富第4地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



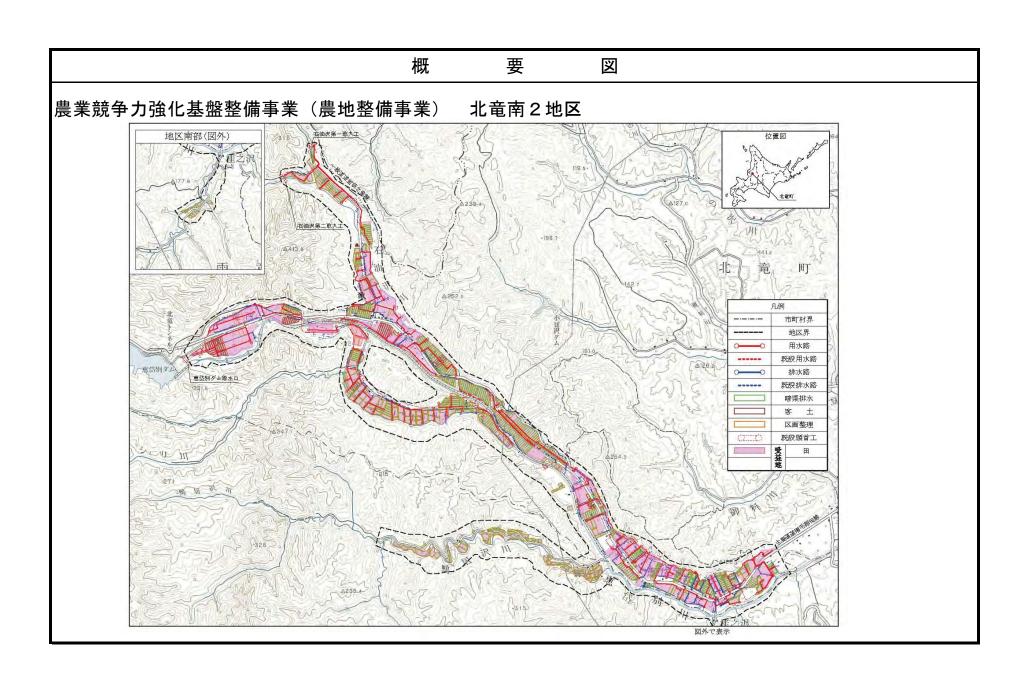
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	竖整備事業	地区名	北美明		
関係市町村	北海道美唄市		事業主体	北海道	<u>首</u>	
事業目的	これまでに地区内行われてきたもののく、用水不足や排力模の拡大が進む中では、更なる労働生産なっている。 このため、本事業に、ほ場の大区画化	を主体として小麦や力では、1ha程度の区画、老朽化や泥炭土壌 K不良が生じている。 で、大型機械の導入が 性の向上は見込めず により国営かんがい持 、暗渠排水や排水路 で担い手へ農地の面的	整理の他、用に起因する用がない。 に起因する用がない。 があられてきない。 大型機械を対し は、大型機械を対して は、大型機械を対して は、大型機械を対して は、大型機械を対して は、大型機械を対して は、大型機械を対して は、大型機械を対して は、ないでは、対して は、は、対して は、は、対して は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	排排手がまり、水水へが、していますが、していますが、していますが、していますが、していますが、これは、おおいまが、これは、おおいまが、これは、おおいまが、これは、おおいまが、これは、これは、これは、これは、	や暗渠排水等設の機能低T 農地集積が過 説状の1ha程度 効率的な営 が 水路の整備る 、客土による	等の整備が 下が著し きの経営規 きの好げと き行うととも る作土厚の
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	惠	エ	期
	288ha	26戸	3, 950百万	河	平成27~35	年度
	主要工事	・排水路 0.8km ・区画整理 287ha				
	関連事業	国営かんがい排水事	\$ 空知中 <i>9</i>			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B∕C		算定	方式
	6, 422百万円	6, 166百万円	1. 04		総費用総係	更益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:北美唄地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



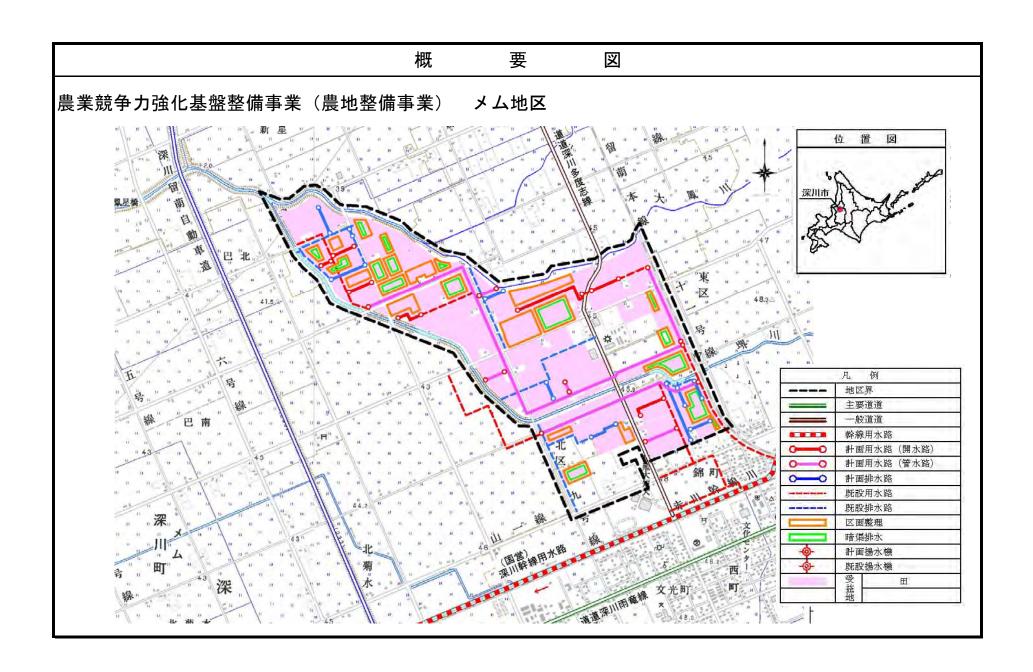
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	&整備事業	地区名	北 竜		
関係市町村	うりゅうぐんほくりゅう: 北海道雨竜郡北 竜 うりゅうぐんうりゅうち。 北海道雨竜郡雨竜!	町 ^{よう}	事業主体	北海道	<u>á</u>	
事業目的	されている。 これまでに地区内 による用排水施設の て、担い手への農地 程度の区画であるた このため、本事業 に、ほ場の大区画化	を主体としてそばや大では用排水路や暗渠が機能低下が著しく、集積が進み経営規模の め労働生産性が低く、 により国営かんがい持 、暗渠排水や排水路 で担い手へ農地の面的	非水等の整備 用水不足や排 の拡大が進ん 効率的な営農 ・水事業と一体 整備による排	が行わ ‡水不良 でいるが の妨け な的に用 が改良	れてきたものの が生じている が、現況の水E となっている。 水路の整備を 、客土による	の、老朽化 る。加え 田は、35a を行うととも 5作土厚の
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	事	I	期
	390ha	23戸	3, 263百万	河	平成27~35	年度
	主要工事	・用排水路 32km ・区画整理 252ha				
	関連事業	国営かんがい排水事	·業 雨竜川中	中央地区	<u> </u>	
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定》	方式
	5, 618百万円	4, 305百万円	1. 30		総費用総便	益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:北竜南2地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



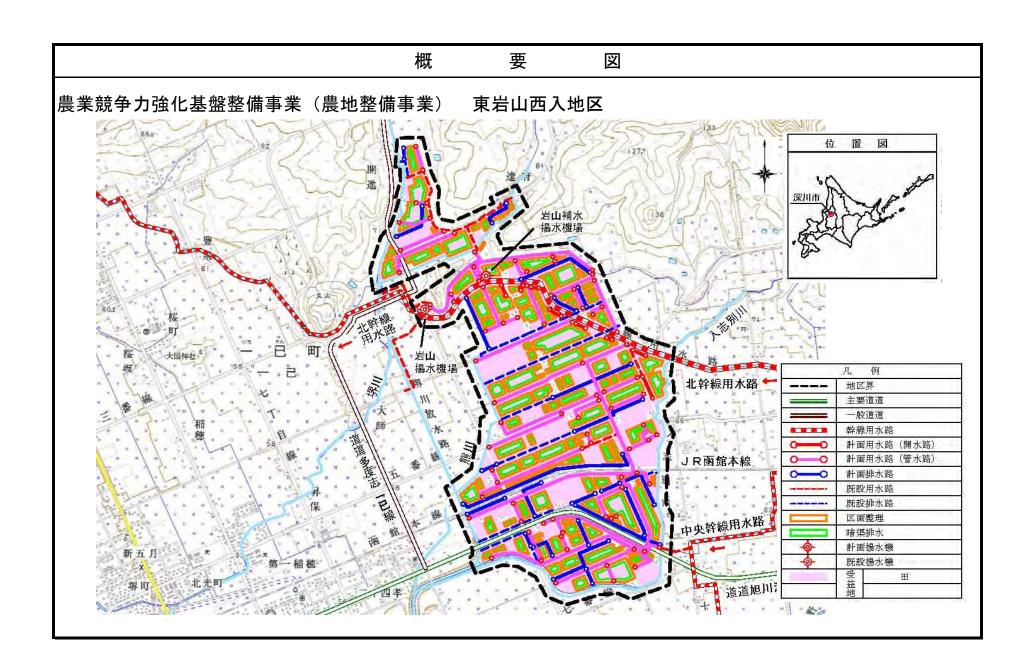
				ı	
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	&整備事業 	地区名	メム	
関係市町村	^{ふかがわし} 北海道深川市		事業主体	北海道	道
事業目的	ている。 これまでに地区内 による用排水施設の て、担い手への農地 程度の区画であるた このため、本事業 に、ほ場の大区画化	では用排水路や暗渠)機能低下が著しく、 集積が進み経営規模 め労働生産性が低く、 により国営かんがい排	排水等の整備 用水不足や排 の拡大が進ん 効率的な営農 水事業と一体 整備による排	が行わ 非水不良 でいる; をの妨け いのは でいな良	水路の整備を行うととも 、併せて担い手へ農地
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	惠	工期
	142ha	21戸	1, 237百万	河	平成27~32年度
	主要工事	・用排水路 8 km ・区画整理 45ha			
	関連事業	国営かんがい排水事	‡ 北空知均	也区	
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式
	2, 087百万円	1, 674百万円	1. 24		総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:メム地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



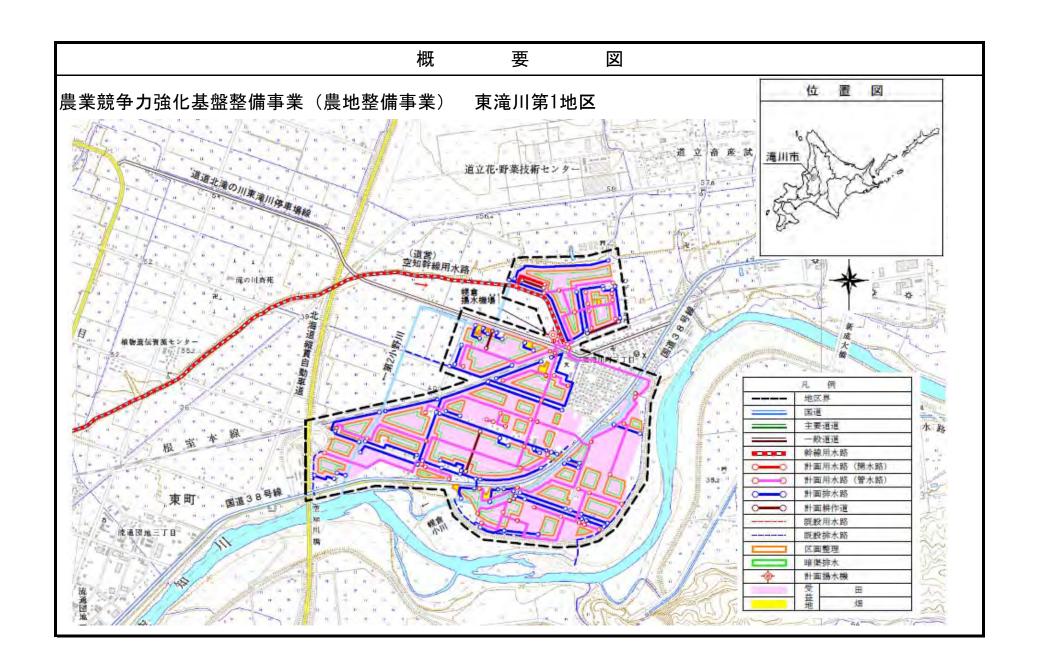
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	&整備事業	地区名	ひがしいわやまにしにゆう 区名 東岩山西入			
関係市町村	^{ふかがわし} 北海道深川市		事業主体	本 北海道			
事業目的	いる。 これまでに地区内 化による用排水施設 て、担い手への農地 程度の区画であるた このため、本事業 に、ほ場の大区画化	では用排水路や暗渠 との機能低下が著しく 集積が進み経営規模 め労働生産性が低く、 により国営かんがい排	排水等の整備 、用水不足や の拡大が進ん 効率的な営患 水事業と一体 整備による排	が行わ や排水不 でいるが との妨け いのに用 いな良	水路の整備を行うととも 、併せて担い手へ農地		
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	皂	工期		
	210ha	32戸	3, 280百万	i円	平成27~35年度		
	主要工事	・用排水路 27km ・区画整理 161ha					
	関連事業	国営かんがい排水事	業 北空知均	也区			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式 		
	5, 198百万円	4, 347百万円	1. 19		総費用総便益比方式		
概要図	別添のとおり						

出典:東岩山西入地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



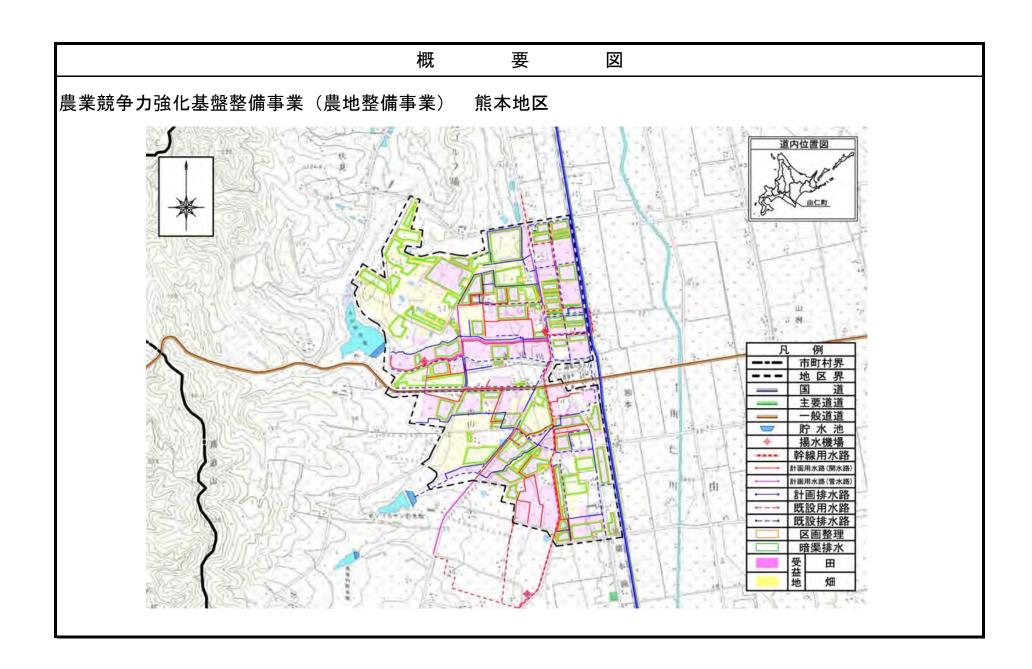
事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	竖整備事業	地区名	東滝川		
関係市町村	たきかわし 北海道滝川市		事業主体	北海道	İ	
事業目的	展開されている。 これまでに地区内 化による用排水施設 て、担い手への農地 程度の区画であるた このため、本事業 に、ほ場の大区画化	を主体として小麦、大では用排水路や暗渠程の機能低下が著しく集積が進み経営規模とめ労働生産性が低く、により国営かんがい排、暗渠排水や排水路、本地域の農業競争力	排水等の整備 、用水不足や の拡大が進ん 効率的な営患 水事業と一体 整備による排	が行われ や排水不 でいるか その妨げ がに用れ れ改良、	れてきたもの 良が生じて が、現況の水 となっている 水路の整備を 、併せて担い	の、老朽 いる。加え 田は、40a 。 そ行うととも
事業概要	受益面積 150ha	受益戸数 20戸	総事業費		工 平成27~35:	期
	主要工事	・用排水路 11km ・区画整理 115ha	0, 010 E / _	/13	₩ ,27 · • 33-	牛)交
	関連事業	国営かんがい排水事	業 北空知均	ŁΣ		
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定	方式
	3, 752百万円	3, 506百万円	1. 07		総費用総便	益比方式
概要図	別添のとおり			,		

出典:東滝川第1地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	竖整備事業	地区名	くまもと 能本	
関係市町村	ゅうばりぐんゆにちょ 北海道夕張郡由仁田		事業主体	北海道	道
事業目的	営農が展開されてい これまでに地区内 化による用排水施設 て、担い手への農地 程度の区画が過半を このため、本事業 に、ほ場の大区画化	いる。 では用排水路や暗渠 役の機能低下が著しく 集積が進み経営規模 と占め労働生産性が促 により国営かんがい排	排水等の整備、、用水不足への拡大が進ん の拡大が進ん く、効率的な 非水事業と一体 整備による排	が行わ り排水でいる。 営農の好 的に用 水改良	水路の整備を行うととも 、併せて担い手へ農地
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	表	工 期
	257ha	26戸	2, 260百万	円	平成27~35年度
	主要工事	・用排水路 23km ・区画整理 143ha			
	関連事業	国営かんがい排水事 国営かんがい排水事			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式
	4, 053百万円	3, 394百万円	1. 19		総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:熊本地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)



事業名	農業競争力強化基盤農地整備事業	竖整備事業	地区名	っきたてほく / 継立北部		
関係市町村	ゅうぱりぐんくりゃまち。 北海道夕張郡栗山!		事業主体	北海道		
事業目的	組み合わせた営農が これまでに地区内 により対応してきが また、用排水の分離 て、担い手への農地 程度の区画が過半を このため、本事業 の分離を行いほ場の	では、ほ場整備事業がたが、十分な整備では進が行われておらず、集積が進み経営規模を占め労働生産性が低により国営かんがい掛け、別用化を進めるととも	が行われておれなく、用水イ なく、用水イ 転作作物の型 の拡大が進ん く、効率的な管 水事業と一体 いに、ほ場の大	らず、私登 下足や排力 でいるが、 営農の妨い さに用水 にの画化、	費による簡 k不良が生 章となっの水 ずとなってい 、路の整備や 暗渠排水や	易な整備 じている。 いる。加え 田は、40a いる。 や用排水路 や排水路整
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	B	I	期
	122ha	17戸	2, 850百万	i円 平	平成27~35∶	 年度
	主要工事	・用排水路 1 km ・区画整理 117ha				
	関連事業	 国営かんがい排水事 国営かんがい排水事				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定:	方式
	3, 779百万円	2,879百万円	1. 31		総費用総便	更益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:継立北部地区土地改良事業計画概要書(北海道空知総合振興局調整課作成)

